

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	間質性肺炎患者の発癌に關与する液性因子の探索研究
	研究目的	間質性肺炎合併肺癌の発症・進展・難治化のメカニズムは詳細にはわかっていません。本研究では間質性肺炎合併肺癌に対する新規治療法開発に役立てるため、間質性肺炎合併肺癌患者の血液および癌組織における各種液性因子を解析します。なお、久留米大学医学部付属病院呼吸器病センター、神奈川県立循環器呼吸器病センターに平成 19 年 1 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日までの間に間質性肺炎の加療目的で外来受診および入院した患者さん（約 90 名）の試料及び診療情報を使います。保存された血液検体を用いて液性因子を測定したのち、各因子の癌組織での発現や臨床情報との関連を検討することにより、間質性肺炎患者の発癌に關わる因子を見つける予定です。
	研究対象者	久留米大学医学部付属病院呼吸器病センター、神奈川県立循環器呼吸器病センターに平成 19 年 1 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日までの間に間質性肺炎の加療目的で外来受診および入院した患者さん（約 90 名）
	研究期間	西曆 2019 年 1 月 25 日～西曆 2023 年 10 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）	<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター研 究責任者	笹田哲朗
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療 科/部局等	臨床研究所（がん免疫療法研究開発学部） 呼吸器内科
	共同研究の場合、共同研 究機関および各施設での 研究責任者	久留米大学 内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門 松尾規和 神奈川県立循環器呼吸器病センター 呼吸器内科 関根朗雅